

令和4年度
市民活動支援事業

成果報告書

はじめに

「霧島市市民活動支援事業」は「共生・協働のまちづくり」の一環として、市民活動団体が行う公益的・公共的な活動に対して経費の一部を補助することにより、様々な市民活動を支援する制度です。これまでに延べ147団体が活用し、令和4年度は7団体が本制度を活用して様々な活動に取り組みました。

この「令和4年度市民活動支援事業成果報告書」は、事業の活動内容や成果等を広く周知し、今後の市民活動の参考にしていただくことにより「共生・協働のまちづくり」が本市全体に広がることを期待して取りまとめたものです。

〈 参 考 〉 令和4年度 霧島市市民活動支援事業応募・採択内訳

【選考審査の結果】

区 分	応 募	採 択	※実 施
団 体 数	10 団体	8 団体	7 団体
N P O 法 人	1 団体	1 団体	1 団体
その他の団体	9 団体	7 団体	6 団体
事 業 数	10 事業	8 事業	7 事業

【分野別内訳】

分 野 別	応 募	採 択	実 施
保健・医療・福祉	1	1	1
まちづくり	4	3	2
学術・文化・芸術・スポーツ	2	1	1
情報化社会の発展	0	0	0
農山漁村振興	2	2	2
社会教育	1	1	1
合 計	10	8	7

目 次

(団 体 名)	(ページ)
1 特定非営利活動法人竹の子会	1～ 2
2 全国ギャンブル依存症家族の会鹿児島	3～ 4
3 アイラブ故郷八村 (アイラブフルサトヤムラ)	5～ 6
4 嘉例川地区活性化推進委員会	7～ 8
5 宮内研究会	9～10
6 WALK INN FES! 2020in 霧島 実行委員会	11～12
7 塚脇おやじの会	13～14
8 オーシャンビューガーデンクラブ (辞退)	

〈 参 考 〉 各団体の補助額等について

目次 番号	事業名	事業費	補助額
1	竹の子会	438,191 円	190,000 円
2	ギャンブル依存症予防・啓発事業	738,194 円	364,000 円
3	故郷八村 (フルサトヤムラ) 活性化事業	203,833 円	92,000 円
4	嘉例川地区活性化推進事業	269,126 円	79,000 円
5	宮内ふる里歴史面白さ UP 事業	112,437 円	54,000 円
6	WALK INN FES! 2022 in 霧島市国分	966,880 円	400,000 円
7	周辺地域の活性化と子供の健全育成の事業	483,608 円	214,000 円
合 計		3,212,269 円	1,393,000 円

竹の子会

<特定非営利活動法人竹の子会>

事業費：438,191円 市補助金：190,000円

目的（背景・課題）

過疎化が進み、子どもの減少にも歯止めのかからない竹子地区で、子どもや高齢者、住民と一緒に集い、演劇等を饗することで、地域の活性化に寄与したい。

事業内容

竹子ふるさとライブ実施
芸能講演(太鼓集団と仲間たち)

日時 6月21日 17時開場 18時開演
場所 竹子小学校 講堂
対象者 小学生より一般
入場料 1,000円(小学生、竹子地区75歳以上住民無料)

事業の成果

○楽器演奏講習会の回を重ねるごとに、練習の成果が如実に表れ、参会者の楽器演奏スキルが上達した。
○カホンを担当する参加者のリズム感がすばらしいと講師から絶賛され、自信を持てるようになった。
○参加者が楽器を触媒に心を開くことにより、コミュニケーション能力が高まった。これにより、コンサートを成功させたいと思う向上心が芽生え、回を重ねるごとに健常者との相互理解が深まった。
○集大成となる今期は、聴衆に限られる各施設でのコンサートではなく、地域の公民館で広く聴衆を募る地域コミュニティコンサートという形で実施した。障がい者と健常者の相互理解に深く響いた。

自己評価

- 1 事業効果
期待していた以上の効果が上がった。
- 2 改善すべき課題
なかった。
- 3 予算執行
ほぼ予定どおり執行できた。
- 4 今後の展望
特になし。
- 5 その他
大好評でした。今後活かしたい。

竹子ふるさとライブの様子





団体情報

<団体名> 特定非営利活動法人 竹の子会

<代表者> 理事長 中吉 修二

<設立日> 令和2年1月10日

<会員数> 10人

<主な活動>

- 1 東西落語競演会
- 2 竹子ふるさとライブ
- 3 ふるさと霧島カラオケ

<連絡先>

所在地 〒899-4304 霧島市溝辺町竹子3218番地

TEL 090-3193-6353

ギャンブル依存症予防・啓発事業

〈全国ギャンブル依存症家族の会鹿児島〉

事業費：738,194円 市補助金：364,000円

目的（背景・課題）

ギャンブル依存症は、WHOでも認められた病気であるにもかかわらず、「本人の甘い考え」「一攫千金を狙う愚か者」「意志が弱いダメな人」と、性格の問題と誤解されている。2017年厚生労働省より国内ギャンブル依存症罹患者は320万人との推計が出された。来年度策定予定の鹿児島県依存症対策推進計画でも県内に2万3千人と推計されると発表された。しかし、県精神保健センターや保健所などへの相談は1割に満たない状況とのことだ。市内の関係機関と連携してギャンブル依存症に苦しみ悩んでいる家族が相談できる場所として周知を行い、依存症を学び、家族及び依存症者の問題の解決を図る提案を行うことを目的とする。ギャンブル依存症の理解を深めるために、広く社会に情報発信すると共に依存症の予防を目的とし、霧島市を鹿児島県の拠点として活動していく。

事業内容

- ① ギャンブル依存症の家族のための定例会を開催。毎月1回家族の会を開催し、ギャンブル依存症を学び、当事者への家族の対応を協議した。
- ② ギャンブル依存症についての専門家を招いて「ギャンブル依存症セミナー」を令和4年9月11日に開催した。
- ③ 保健所や保健センター及び県依存症拠点病院と情報交換を続けて連携を図った。
- ④ 家族の相談に的確な対応ができるように、相談スキルを高める必要があることから他県でのセミナーや講習会に参加した。

事業の成果

- ① 家族の会への参加者が延べ92名になり、ギャンブル依存症を理解して、当事者の対応を変えた事により、当事者が回復している家族が増えてきた。
- ② ギャンブル依存症セミナーに、霧島市内外から200名以上が参加し、新聞でも取り上げられ、依存症の啓発にも繋がった。
- ③ 病院や保健所などと連携強化が進んでいる。病院や保健所等が家族の会を紹介したり、

保健所の紹介で保護司会からも体験談の発表依頼が来るなど効果が現れている。

- ④ 他県開催の全国ギャンブル依存症家族の会のセミナーや(公社)ギャンブル依存症問題を考える会主催の研修会に参加して、相談スキルアップに努めた。

自己評価

- 1 事業効果
期待していた以上の効果が上がった。
- 2 改善すべき課題
参加費収入に頼っているが、予算的に厳しく、収入確保が課題。
会を重ねるごとに参加者は増えているが、公民館は知人に会う恐れがあり参加を躊躇うとの声もある。開催場所について検討したい。
- 3 予算執行
多少の変更があった。
セミナーを無料にしたことで、予定した収入が確保できなかった。
初年度で項目によっては予算と決算に大きな開きがあった。的確な予算を計上したい。
- 4 今後の展望
令和5年度が2年目になる。前年と同じ取組を予定しているが、今年度は依存症の啓発活動に取り組みを強化したい。
- 5 その他
特になし。



ギャンブル依存症 セミナー
全国ギャンブル依存症家族の会 鹿児島主催
鹿児島市法政大学市民会館 2F 2023年9月11日

2023年
9月11日(日)
14:00～16:30
清辺公民館(みそゆ館)大ホール
鹿児島県鹿児島市清辺町 2391
入場無料(会場費別途) 20名まで10分

講師
田中大三先生
鹿児島県保健福祉局長
全国ギャンブル依存症家族の会 鹿児島支部長
田中紀子氏
公益財団法人ギャンブル依存症予防教育アドバイザー

ギャンブル依存症の基礎知識と対策を学ぶ
と相談いたします。当事者家族から経験談、
一問一答も受け付けています。

特別ゲスト
高知東生氏
公益財団法人ギャンブル依存症予防教育アドバイザー

お問い合わせ 090-1089-4147 (松元)

全国ギャンブル依存症家族の会 鹿児島
NPO法人全国ギャンブル依存症家族の会
TEL:090-1089-4147 FAX:090-1089-4147
http://www.gifam.or.jp

＜セミナーの様子＞

家族の会発足時の
南日本新聞記事

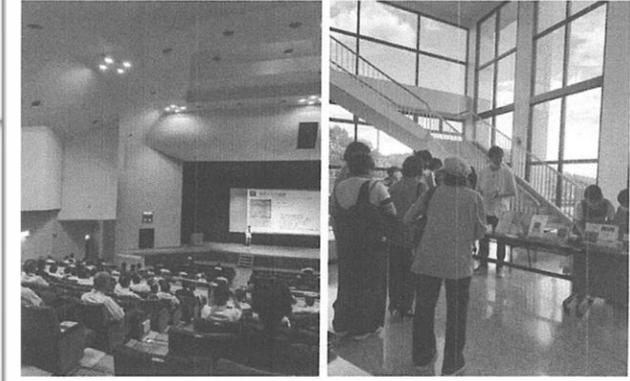


ギャンブル依存 悩み語ろう
霧島市で家族会初会合

「全国ギャンブル依存症家族の会・鹿児島」の発足会が13日、霧島市の観光公民館であった。約40人が参加し、悩みや体験談などを語り合い、問題解決に向けたヒントを探った。風立しがらな依存症者の家族同士が情報を共有し、対応策を学ぶ目的で



設立。九州では福岡、長崎、佐賀に次いで4カ所目となる。初会合では、参加者が「息子が多量借付者になり破産した」などの悩みを吐露。福岡から駆けつけた家族会のメンバーは「何とかしてあげたい」と借金を親が代わりに返すと、早い回復につながる



ご家族のギャンブルの問題で悩んでいませんか・・・
全国ギャンブル依存症家族の会 鹿児島
家族の会のご案内

ギャンブル依存症はWHO(世界保健機関)でも認定された病気です。一人で悩みを抱えず、共に対応の仕方を学びませんか！
この家族の会は
-ご家族のギャンブルなどの問題で困っている方
-ご家族が現在、依存症回復施設に入られている、これから入寮を考えている方
-ギャンブル依存症について詳しく知りたい方 など、どなたでも参加していただけます。
＜秘密は厳守されます＞

【開催日】毎月第二土曜日
(変更する場合は、ホームページでお知らせします。)

【時間】 14時～16時
【場所】 霧島市園分公民館会議室 (園分シビックセンター3F)
【参加費】 お一人 1,000円



霧島市園分中央三丁目45-1
・JR日豊線園分駅から徒歩約5分
・車の場合はお乗り込み駐車場をご利用ください。(土日は無料開放)

【問合せ】 090-1089-4147 (担当：松元)
※ 費の会に初めて参加される方は、電話かメールでご予約をお願いします
予約申し込みメール gdfam.kagoshima@gmail.com

コロナ感染拡大防止対策を行って開催しております。手指消毒、マスク着用をお願いします。

NPO法人 全国ギャンブル依存症家族の会
TEL 090-1404-3327
http://www.gdfam.org/



(2022.05)

1月18日KTSで放映後ヤフーニュースで配信

「依存症は孤独の病」コロナ禍を経て変化す。『依存症は孤独の病』コロナ禍を経て変化す。『依存症は孤独の病』コロナ禍を経て変化す。『依存症は孤独の病』



ルコールやギャンブルなどさまざまな依存症があるが、コロナ禍を経て依存症の形も時代とともに変わっていく。依存症治療現場を取材した。

画像) ギャンブル依存症患者の族が「誰にも言えなかった」胸の内共有する会

1月27日ギャンブルでの犯罪記事



1月30日南日本新聞、依存症の記事



団体情報

＜団体名＞全国ギャンブル依存症家族の会鹿児島

＜代表者＞松元 英雄

＜設立日＞令和3年12月19日

＜会員数＞7人

＜主な活動＞

ギャンブル依存症者の家族の支援及び、依存症に関する勉強会・啓発活動・予防教育・情報提供などの活動を行う事を目的とする。

＜連絡先＞

所在地 〒899-6507 霧島市牧園町宿窪田169-16

TEL 090-1089-4147

故郷八村（フルサトヤムラ）活性化事業

＜アイラブ故郷八村＞

事業費：203,833円 市補助金：92,000円

目的（背景・課題）

○少子高齢化の進む地区内の活性化
地区内の住民のほとんどが生まれたときから生活しており、“田舎には何もありません”が口癖です。都会に出たことが無い人は、故郷の良いところが見えません。我が故郷八村には誇れるものがたくさんあります。それを再現し、地区の活性化に繋げ、故郷の里山をいつまでも守っていきます。

事業内容

1. 西南戦争時の塹壕跡、旧牧野病院跡慰霊碑の整備
2. 芋飴、コンニャク、あく巻、ソバ、そまげの再現
3. 、八村農村公園及び牧野池の整備・清掃
4. 地域内主要道路の清掃・花壇植栽

事業の成果

地域に住んでいる高齢者と会話したり、地域の伝統を残し、地域出身者を巻き込んで集落の活性化を図ることができた。

自己評価

- 1 事業効果
期待した効果が上がった。
- 2 改善すべき課題
今後の事業の継続が不透明。
- 3 予算執行
多少の変更があった。
- 4 今後の展望
事業の継承
- 5 その他
外部への情報発信をすればよかった。





団 体 情 報

<団体名> アイラブ故郷八村(アイラブフルサトヤムラ)

<代表者> 井料 喜代子

<設立日> 平成31年4月1日

<会員数> 9人

<主な活動>

八村地区を活性化する事業を実施することにより、当該地区の復興を図ることを目的とする。

<連絡先>

所在地 〒899-4504 霧島市福山町佳例川2224-2

TEL 090-2043-8368

嘉例川地区活性化推進事業

＜嘉例川地区活性化推進委員会＞

事業費：269,126円 市補助金：79,000円

目的（背景・課題）

嘉例川地区は山間部に位置し少子高齢化及び過疎化が進行中だが、開業119年になる国の登録有形文化財である嘉例川駅舎が既存しており地元は勿論のこと、本市の観光スポットとなっている。

また、近年は日本全国はじめ外国からのお客様も多い。トリップアドバイザーの認定も受けている。この駅舎を活用した持続可能な地域活性化及び地域振興まちづくりを目的としている。

事業の成果

コロナの関係でここ1・2年イベント等が思うようにできず、お客様、地元の人々も寂しい思いをしてきましたが、少しずつ活気づいてきて団体のお客様、外国のお客様も来てくださるようになったので、無理せず、できる範囲で地域の活性化を絶やさないように努めていきます。

事業内容

2022年5月22日 駅周辺の草払い
2022年7月3日 嘉例川駅構内に七夕飾り付け
2022年7月31日 駅周辺の草払い
2022年11月5日 からいも堀り
2022年11月18日 クリスマスツリーの作成
2022年11月21日 駅周辺の草払い、からいも堀り
2022年12月18日 駅に設置する門松の作成
2023年1月21日 嘉例川駅120周年イベント

自己評価

- 1 事業効果
期待した効果が上がった。
- 2 改善すべき課題
若い人が少なくなり、動いてくれる男手がなくなり、イベント実施が難しくなる。
- 3 予算執行
大きな変更を余儀なくされた。
→嘉例川地区活性化委員会は予算が少ないため、予算確保に苦労しているから。
- 4 今後の展望
イベント等の活動を通して若い人達が移住してくれているようにしたい。
- 5 その他
外国の人達や色々な地域の人達が訪れて喜んでくれたり、はげましをいただき、活動を始めてよかったと協力してくれる人達に関しています。



団体情報

<団体名> 嘉例川地区活性化推進委員会

<代表者> 山木 由美子

<設立日> 平成16年1月

<会員数> 35人

<主な活動>

嘉例川地区の活性化。

<連絡先>

所在地 〒899-5113 霧島市隼人町嘉例川2218-1

TEL 0995-43-9081

宮内ふる里歴史面白さUP事業

＜宮内研究会＞

事業費：112,437円 市補助金：54,000円

目 的（背景・課題）

1. 宮内の歴史遺産を調査する。
宮内のことについて記されたものとしては、隼人町郷土誌、隼人の歴史などの旧隼人町時代の刊行物が何点かある。また、文化財については旧隼人町教育委員会が隼人町文化財分布図として地図上に落とし込んでいる。
ただ、これらは隼人町全体を対象としたものであり、また、その後の道路整備や住宅化などにより、石像等が紛失しているものや場所が移動しているものもある。
こうしたものの状況を宮内のものについて、より詳細に調査するとともに、それらに記載されていないものの発掘に努め、宮内の歴史遺産の全体把握を図る。
2. 宮内の歴史についての啓発及び情報発信
地域の歴史を知ることは、地域への愛着を生むうえでとても大事なことである。
ところが、宮内に2ヶ所の国指定史跡があることや宮内原用水のこと、貝塚のこと、入定遺跡のことなど数多くの歴史のことについては、宮内に長年住む人でさえ知らない人が多い。加えて、宮内は住みよい地域として新しい住宅が次々と出来、古くからの住民と他地域からの流入者の混在が著しい地域であり、せつかくのこうした貴重な歴史資産が身近な人に知られていない状況である。
このため、史跡巡り、研修会、パンフレットの発刊などにより、地域の人々に隼人の歴史について啓発する。
また、地域内外の人々への情報発信のためのホームページやブログ作成について検討していく。

事業内容

1. 宮内の歴史遺産の調査記録
(1) 隼人町文化財分布図等を参考にしながら宮内地域内の歴史遺産の状況を調査記録する。
 - ・歴史遺産の状況を調査記録
史跡等図に記載されている史跡等についてその来歴、状況等調査し、その成果を一部は公民館だよりに掲載した。
 - ・新規発掘、場所の特定等
朝日西池、アンダサア、西雲寺跡。
 - ・史跡損壊や場所移動の確認
日秀神社の鳥居の復元確認、龍派見家五輪塔の移転確認。

- (2) 宮内地域の小字についての調査
隼人郷土誌に記載されている、宮内の小字について、その由来等を研究し、「地名から探る宮内の歴史」としてまとめた。
- (3) 宮内地区の主な歴史遺跡の関連先調査
鹿児島神宮と繋がりがあがる、鹿屋市吾平町の吾平山綾、東串良町の唐仁古墳群、曾於市岩川町の弥五郎どん祭りのある八幡系神社の岩川八幡神社、前方後円墳の横瀬古墳、霧島市国分の枝宮神社、福島鎮守神社、止上神社などを実際に見て、宮内の歴史遺産の記録の深化を図った。
- 2 宮内の歴史についての啓発及び情報発信
(1) 令和4年11月27日の史跡巡り(鹿児島神宮コース)において、パンフレットを作成し、これを基に参加者に鹿児島神宮の案内をした。
(2) 宮内の歴史調査に係る団体との意見交換会
令和4年7月2日及び9月3日に、隼人町史談を対象に「地名から探る宮内の歴史」を発表し、意見を交換した。
(3) 地域への広報
各月1回、宮内公民館が発行している公民館だより「宮内歴史散歩」として、宮内の史跡等を紹介している。
(4) ホームページ等作成検討
これまで調査してきた宮内の史跡や小字の由来などをホームページ又はブログで広く発信すべく、方法等含めて検討中。

事業の成果

1. 宮内の歴史遺産の調査記録
(1) 歴史遺産の状況を調査記録、発掘、史跡破損や場所移動の確認
→令和3年度の歴史遺産調査対象一覧を基に、史跡等の状況を調査し来歴等がより明らかになり、公民館だよりなどで公表したことにより、地域の人々に宮内の史跡等への関心を高めてもらった。
(2) 宮内地域の小字についての調査
→宮内の小字について由来等を研究し、「地名から探る宮内の歴史」としてまとめたが、小字には歴史を語るものが多く宮内の歴史をより深く知ることができた。
(3) 宮内地区の主な歴史遺産の関連先調査
→宮内の歴史をより深く理解するとともに、調査結果に記載した、その地域における史跡保存、活用の状況について参考になることが多かった。
2. 宮内の歴史についての啓発及び情報発信
(1) 史跡めぐりの実施

→令和4年度は2月に国史跡に指定された鹿児島神宮を対象に宮内地区自治公民館連絡協議会が実施した。鹿児島神宮は国指定及び檜皮の葺き替えと大きな出来事があったばかりだったため、参加者の関心は高かった。特に鹿児島神宮の神職に説明を依頼したことも効果的だった。

(2)宮内の歴史調査に係る団体との意見交流会の実施

→隼人町史談会は、隼人町全体の歴史に関心を持つ者の団体であり、そこに当研究会の研究結果を発表し、意見を交換したことは当研究会の意識向上、今後の相互協力、ひいては歴史研究の深まりへの繋がりまで期待できると思う。

(3)地域への広報

→宮内に住む人全てが目にする可能性のある公民館だよりに宮内の史跡等のことを紹介していることや、宮内公民館・隼人市民サービスセンター・隼人駅等に歴史散歩のパネルを掲示することなどで宮内の歴史への関心を高めることができていると思う。

弥五郎どん祭りの研修視察



吾平山綾方面研修の様子→



自己評価	
1 事業効果	期待した効果が上がった。
2 改善すべき課題	あった。 コロナの影響で複数人での現地調査や地域の人からの聞き取りなどが十分にできなかった。コロナの推移を見ながら、出来るだけ調査をスピードアップしていきたい。
3 予算執行	多少の変更があった。 コロナの影響で史跡調査を縮小せざるを得なかった。
4 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングや公民館だよりへの掲載を継続 ・史跡等の調査を充実させていく。 ・昔の道から宮内の歴史を探る活動を展開する。
5 その他	会員相互協力のもと、計画達成に向けた活動が出来た。



団体情報

<団体名> 宮内研究会

<代表者> 会長 有川 和秀

<設立日> 平成30年6月20日

<会員数> 8人

<主な活動>

- ・宮内地区の歴史に関する文献調査
- ・宮内地区の史跡調査
- ・宮内地区自治会連絡協議会主催の「宮内ふる里史跡めぐりウォーキング」での史跡案内

<連絡先>

所在地 〒899-5106 霧島市隼人町内山田2-14-3

TEL 0995-42-1106

WALK INN FES!2022 in霧島市国分

<WALK INN FES! 2020 in霧島 実行委員会>

事業費：966,880円 市補助金：400,000円

目的（背景・課題）

本イベントは「僕らの街は、僕らで創る。」をテーマに、鹿児島県内で活動する地元アーティストと県外からアーティストを招いて行う音楽フェスである。音楽と同じく鹿児島の食や文化を発信し、子供から大人まで体験することが出来るイベントであり、過去6回は鹿児島市桜島での開催だったが、7・8回目は霧島市で開催した。コロナ禍の中で完全な感染対策を元を実施し成功を収める。2022年度はさらに霧島市の特化コンテンツの拡充を図り、イベントの趣旨である霧島市に住む人が当事者意識を持って内外へ発信し、先々は地元の間人を中心自立開催へと繋げて行くことを目的とするものとする。

事業内容

WALK INN FES! 2022 in 霧島市国分
日時 4月9日(土)午前11:00～午後8:00
4月10日(日)午前10:00～午後8:00
場所 国分キャンプ海水浴場
国分海浜公園周辺施設
対象者 県内外の子供～大人
内容 アーティストによるライブ演奏
飲食店・雑貨屋などの出店
キャンプ実施

事業の成果

コロナ禍での4回目の実施だったが、今回も大規模な動員制限と感染対策を行い感染者を出さずに終了できた。

2020年11月、2021年4月、11月の実績をもとに、感染対策はゆるめず動員制限を緩和、霧島在住の出演者、出店者の数も増やすことができた。お客さんも、出演者、関係者も感染対策を行いつつも、イベントを楽しんでくれた。また、当日の様子はテレビ、ラジオ、インターネットなどを通して発信され、霧島市の音楽、文化、そして会場の素晴らしいロケーションなどを広く周知することに成功した。

自己評価

- 1 事業効果
期待した効果が上がった。
- 2 改善すべき課題
なかった。
- 3 予算執行
多少の変更があった。
イベントに対する、国の補助事業も活用したが処理申請が煩雑なため、実施報告など事後処理が遅れてしまった。また、申請直前に感染者が増加、関係者の近くでの濃厚接触者も出て報告の作業が大幅に遅れてしまった。
- 4 今後の展望
コロナ禍での4回の実績をもって、4月のFESの10周年。4回目になる霧島市での開催も安全に実施し、霧島市の街、音楽、カルチャーの振興を行いたい。
- 5 その他
前回より霧島市在住ミュージシャンや出店関係者の参加が増えた。また霧島市外、鹿児島県外の来場者も増え「霧島の音楽、食、文化」そしてロケーション(観光資源)を広く発信できた。



団体情報

<団体名> WALK INN FES! 2020 in 霧島 実行委員会

<代表者> 長里 紀亨

<設立日> 令和元年8月1日

<会員数> 20人

<主な活動>

WALK INN FES! 2022 in 霧島市国分の開催準備全般

WALK INN FES! は、2014年から2019年まで年1回の計6回鹿児島市の桜島で開催。2020年、2021年、2022年は霧島市で開催。

<連絡先>

所在地 〒899-4322 霧島市国分中央三丁目12-48 スタジオFUZZ内
TEL 0995-48-8217

周辺地区の活性化と子供の健全育成の事業

＜塚脇おやじの会＞

事業費：483,608円 市補助金：214,000円

目 的（背景・課題）

年々、地域の高齢化や過疎化が進んでいる周辺集落において、以前は実施していた地域行事が、実施できなくなってきた。また、子ども達の健全育成のための行事、ハロウィン、体験キャンプ、クリスマス会といった体験活動も、継続が難しくなっている。さらに、永山自治会の高齢化は著しく、自治会の清掃活動にも協力していく必要がある。そこで、周辺地域の活性化を図るために「塚脇おやじの会」を立上げ、幅広い活動を目指している。

来年度の試みとして、荒地化している永山集落の田んぼを借りて蕎麦を栽培したり、馬頭観音(永山集落)までの道や広場の木の伐採、草刈りも計画している。

この活動を徐々に広げていき、塚脇周辺集落を盛り上げていきたいと考えている。

事業内容

○4月

- ・馬追ヶ丘周辺の清掃
日時:4月10日 8時から16時
場所:馬追ヶ丘
対象者:塚脇おやじの会会員及び協力者
内容:馬追ヶ丘までの道路及び広場の草刈りや木の伐採

○8月

- ・永山自治会の清掃協力
日時:永山自治会の清掃計画日
対象者:塚脇おやじの会会員及び協力者
内容:永山集落内の清掃協力
- ・永山集落内馬頭観音の木の伐採草刈
日時:永山集落清掃終了後
対象者:塚脇おやじの会会員及び協力者
内容:馬頭観音までの道の木の伐採、草刈り

○9月

- ・荒地化した田んぼの再生(蕎麦植え)
日時:8月初旬から9月初旬 10時から13時
場所:永山自治会内の元田んぼ
対象者:塚脇おやじの会会員及び協力者
内容:永山集落内の田んぼが荒地化している。その田んぼをどうにかしてもらえないかと相談があり、蕎麦を作るようになった

○10月

- ・ハロウィン
日時:10月30日から31日 14時から22時
場所:塚脇公民館
対象者:小学生から中学生 40名程度
参加者総数80名程度の見込み
内容:子供達に仮装してもらい、集落内の協力者の家を回り、トリック・オア・トリート！と声をかけていく

○12月

- ・クリスマス会
日時:12月18日 9時から15時
場所:塚脇公民館
対象者:幼児から小学生 30名程度
内容:ケーキ作り、ピザ作り、サンタさんによるゲームとプレゼント
- ・門松作り
日時:12月29日 8時から17時
場所:協力者の工場
対象者:塚脇おやじの会会員及び協力者
内容:小学校、消防詰所、公民館などに置く門松の制作

事業の成果

- 馬追ヶ丘周辺の清掃、永山自治会の清掃協力
馬追ヶ丘までの道路及び広場までの草刈り、木の伐採を年3回実施した。
- 永山集落内の荒地化した田んぼの再生
荒地化した田んぼや周辺の草刈りを行い、トラクターで耕運し、蕎麦の種まきから収穫、脱穀まで行った。
- ハロウィン、クリスマス会
今年は、コロナの影響もあり、規模を縮小し。衛星管理も徹底してもらいながらの開催となった。
- 門松作り
予定の制作数に加え、神社からの作成依頼もあったため、予定より多く作成した。

この事業により、おやじ会のメンバー、協力者も増え、高齢者の方々も笑顔で話しかけてくれるようになった。メンバーからも色々な案が出てきて、ハロウィン・クリスマス会は大人も楽しめた。子供達も、協力しながら進んで手伝うようになった。

自己評価

- 1 事業効果
期待した効果が上がった。
- 2 改善すべき課題
コロナの影響により皆の集まりが悪かった。
- 3 予算執行
多少の変更があった。
- 4 今後の展望
もう少し集まりをよくする。
今後の事業継続のために、経費の見直しと収入の増加を検討する。
- 5 その他
皆一生懸命頑張ってくれているので、今後もこれを維持できるように一層の盛り上げていきたい。



団体情報

- <団体名> 塚脇おやじの会
<代表者> 会長 假屋 祐樹
<設立日> 平成30年2月22日
<会員数> 17人
<主な活動>
塚脇周辺集落や子供達の笑顔のための活動
・清掃活動 ・子供達のための様々なイベントや体験活動 ・門松作り
<連絡先>
所在地 〒899-4461 霧島市国分上之段2408-46
TEL 090-3669-2373

令和4年度
市民活動支援事業成果報告書

令和5年10月

〒899-4394 霧島市国分中央三丁目45番1号
霧島市役所 市民環境部 市民活動推進課

T E L 0995-64-0988 (直通)

F A X 0995-46-0566

E-mail simi-katudo@city-kirishima.jp